

平成19年度 川崎市自動車運送事業会計予算

(総 則)

第1条 平成19年度川崎市自動車運送事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(項 目)	(乗 合)	(貸 切)
(1) 車 両 数	319 両	5 両
(2) 年 間 走 行 キ ロ	12,473 千km	55 千km
(3) 年 間 輸 送 人 員	48,116 千人	303 千人
(4) 1 日 平 均 輸 送 人 員	131,464 人	828 人
(5) 主要な建設改良事業		
ア 乗 合 自 動 車 購 入 費		872,867 千円
イ 運行情報提供システム導入事業		48,264 千円
ウ バス 停 留 所 施 設 整 備 事 業		21,152 千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入		
第1款	自動車運送事業収益	10,002,716 千円
第1項	営 業 収 益	8,234,150 千円
第2項	営 業 外 収 益	1,767,566 千円
第3項	特 別 利 益	1,000 千円

支 出

第1款	自動車運送事業費用	10,207,077 千円
第1項	営 業 費 用	9,915,311 千円
第2項	営 業 外 費 用	276,930 千円
第3項	特 別 損 失	4,836 千円
第4項	予 備 費	10,000 千円

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 642,342 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 46,249 千円及び損益勘定留保資金 596,093 千円で補てんするものとする。）。

収 入

第1款	自動車運送事業 資本的収入	929,523 千円
第1項	企 業 債	699,000 千円
第2項	国 庫 補 助 金	76,861 千円
第3項	県 交 付 金	4,907 千円
第4項	一 般 会 計 補 助 金	142,671 千円
第5項	その他の資本的収入	6,084 千円

支 出

第1款	自動車運送事業 資本的支出	1,571,865 千円
第1項	建設改良費	987,319 千円
第2項	企業債償還金	574,421 千円
第3項	投 資	125 千円
第4項	予 備 費	10,000 千円

(企業債)

第5条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
自動車運送事業	千円 699,000	政府資金、銀行その他から普通貸借または証券発行（他の地方公共団体との共同発行を含む。）による。起債の時期は当該年度とする。ただし、事業進ちよくまたは財政その他の都合により、全部または一部を翌年度へ繰越して起債することができる。	年 9.0% 以内	借入の日から30か年以内（据置期間を含む。）に償還する。ただし、企業財政の都合により繰上償還、償還年限の短縮又は本議決の範囲内で借換えすることができる。

(一時借入金)

第6条 一時借入金の限度額は、2,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第7条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における営業費用及び営業外費用の間の流用

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第8条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職 員 給 与 費	6,896,311 千円
(2) 交 際 費	30 千円

(他会計からの補助金)

第9条 一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、1,322,176千円である。

平成19年2月14日提出

川崎市長 阿 部 孝 夫